修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

緑も濃く

旅行シーズン始る

夢もふくらむ

修学旅行

春季研修　好天候に成果あがる

緑の旅行シーズンがやってきた。一子どもたちの夢をふくらませる新幹線利用の修学旅行は、早くも二年目を迎え、四月十日、関東地区から千葉県の三校九百一千名が関西へ向って出発するのを皮切りに、近畿地区十五日、東海地区十六日、それぞれ関東方面へ旅立つ。このほか従来の修学旅行専用電車「わかくさ号」「わかば号」「こまどり号」「あおぞら号」専用船の「わかば丸」「ふたば丸」などもいっせいに動き出す。

また、いままで夏だけ実施していた修学旅行指導者育成と教職員厚生運動を目的とする全修協の研修旅行は、ことしから三季制を採用することになり、先ず春は国鉄山陽新幹線岡山開業に伴って四国、南九州、さらに伊豆大島・伊豆半島の三コースで催して全国教職員の要望にこたえ、夏季研修旅行の前ぶれを飾った。

関東地区中学校修学旅行委員会（戸田俊雄会長）管下の関東五県の修学旅行は四月十日から六月二十日までの八十四日間にわたって新幹線で三百七十三校約七万五千名を関西方面へ運ぶ。本年かぎり一日間、百一校約一万九千名を輸送する。【大阪】近畿修学旅行委員会（久保田八郎委員長）は四月十五日から六十八日間に三百十一校約六万一千名を新幹線、専用電車の「わかば号」は四月二十二日から四日間、三十校約四千二百名をそれぞれ関東方面へ運ぶ。

大阪から伊勢方面へ行く近鉄の「あおぞら号」は四月二十五日から八十六日間に五百六十六校、約八万八千名を輸送する。

近畿地区高校修学旅行連営委員会（坪井明会長）は三月十八日から同二十一日までと四月十七日から同二十八日までの二十六日間、二十一校五千百四十名の高校生を九州方面へ送り出す。近畿を除くその他の地区は七十五校二万七千九百四十六名となっている。なお近畿地区は秋季に実施する高校が多い。

【名古屋】東海三県修学旅行委員会（仲谷義明会長）管下の新幹線利用は四月十六日から六月十八日までに二百二十三校約四万五千五百名を、また専用電車「こまどり号」は五月七日から六月二十九日まで二百三十六校四万九千百名を関東方面へ送り出す。

○……○

全修協企画による教職員研修旅行は「山陽新幹線四国一周」「同南九州」および「伊豆大島と伊豆半島」の三コースで盛大に行なわれた。

四国一周コースは三月二十六日北海道、東北、関東、北陸、東海地区の教職員約二百名で実施された。東京駅から新しく開通した山陽新幹線岡山まで二班に分かれて出発、岡山からバスで倉敷へはいり、大原美術館、倉敷考古館、同民芸館などを見学後、金甲山で宿泊。二日目は下津井から丸亀へ。すでに春たけなわの、美しい家並みや山河が静かに息づく四国路めぐりは続く。琴平、子規堂、石手寺などを見学して道後温泉泊り。三日目は再び松山から高知へ出て桂浜で風景美を探勝後、竜河洞を経て高知市で宿泊。四日目は大歩危・小歩危、栗林公園、屋島を研修して高松から船で小豆島に渡った。土庄を経て坂手で一泊。五日目は島内各所を見学、再び土庄から岡山港へ戻り、新幹線で帰路についたが、会員は四国の土と海の香りを満喫した。

南九州一周コースは中・四国、九州地区を除く教職員を対家に行なわれた。三月二十七日午後四時、東京駅を出発、新大阪でも合流して岡山まで直行。岡山から特急寝台にのりかえて一路鹿児島へ。一と足はやい九州の春の風物を十分に味わった。

中・四国地区の教職員は伊豆大島と伊豆半島コース。新幹線で三島から長岡へ。今も残る江川太郎左衛門の家敷や反射炉を見学し、二日目は石廊崎で西伊豆を探勝して下賀茂で宿泊。下田から伊豆大島へ渡りツバキの花乱れる島内各所を見学して熱海へ戻り、箱根に入って芦の湖上を渡り、すがすがしい春の数日をすごした。〝短かい春休みにふさわしい企画だ〟と参加者は大喜びだった。

引率の旅費なども

全修協　修旅の基準を調査

全修協では修学旅行の改善と充実に資するため各支部長を通じて本年度小・中・高校修学旅行の基準について調査を行なっている。調査項目は①現行の小・中・高校別「日程」「費用」「引率教職員」の基準について②四十六年四月一日から本年三月三十一日までの小・中・高校別の「方面」（旅行先）と「参加児童生徒数」③引率教職員の旅費などについての四十七年度教育予算に引率教職員の旅費が計上されているか、どうか。

【計上されている場合】▽それは一般普通管外旅費と別建てになっているか▽支給されているのは交通費、宿泊費、日当、その他の手当のうちどれか▽それは正規の旅費規定によって計算されているか、打切り支給か▽打切り支給のばあいの支給額は実費、実費以上上、実費以下のいずれか。

【計上されていない場合】実情はどうなのか。県内の具体的な例をあげてほしい、などというもの。これらの要項は四月末日までに締切り、直ちに整理、印刷して関係方面へ提供するか、今後の修学旅行実施に貴重な資料となるため全修協研究部では各都道府県教委の積極的な協力を要望している。

見学地の精選を

宇留田敬一

二百名、三百名という大部隊がバスを連ねていくことに問題がありはしないか。交通上の問題もさることながら、ひとりひとりの生徒が意欲的に修学旅行という学習にとりくんでいるのであろうか。あのような形では効果はあげにくいのではないだろうか。この際、修学旅行のあり方について根本的に考えなおすことが肝要と思う。とはいっても、別にすばらしい代案を持ち合わせているわけではないが…。

史蹟や古美術、あるいは社寺めぐりに偏していることも問題の一つではなかろうか。それに限られた日程の中で、あれもこれもと盛りだくさんに過ぎるのも気になることの一つ。もっと精選してじっくり見学させたいものと思う。思いきって生徒に選ばせてみてはどうであろう。奈良に行くなら飛鳥グループ、法隆寺グループ、薬師寺グループなどができよう。グループごとに徹底した事前学習をさせていくなら大きな効果が期待できのである。（東京都教育委員会よう。画一的でなく、生徒の主体的な活動を大きく生かした弾力性豊かなプランを考えたいものである。

第二は方法の改善である。目的地を選ぶについて、東京のばあい、従来、判でおしたように京都、奈良方面となっていることは一考を要しないかどうか。文化遺産の見学だけではなく、もっと多面的多方面を考えてみる必要があろうかと思う。

また、生徒会活動展開のよき機会として、目的地の中学校と事前に連絡しあって学校交歓の会などをもつことも、生徒にとってはよき思い出となるであろう。とにかく〝新しい修学旅行の創造〟に向って学校ごとのよきアイディアを大いに期待したいものである。（東京都文京区立文林中学校長）

人間性回復から

篠原春雄

修学旅行は長い伝統をもったわが国独自の極めて価値高い教育活動であり、かつ、生徒の一生にきえることのないよき思い出をつくるものである。ところが実際にはともするとその教育的意味や方法についての十分な研究をおこたりがちで、いわゆるマンネリ化の嫌いがないではない。

中学校ではいよいよ新しい教育課程実施の年を迎えるわけで、これを機会に修学旅行についても改めて深い省察を加え、脱皮をはかることが肝要だろう。

新教育課程の基本精神である人間性の回復、調和と統一ということがこの際も主眼となるであろう。具体的には教育課程における修学旅行の位置づけを明確に押えてかかることが、その一つである。特別活動の内容としての学校行事に位置づけられている真の意味を十分認識しなければなるまい。

修学旅行　私はこう思う

日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

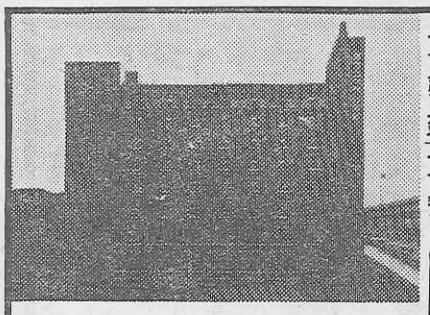
風紋

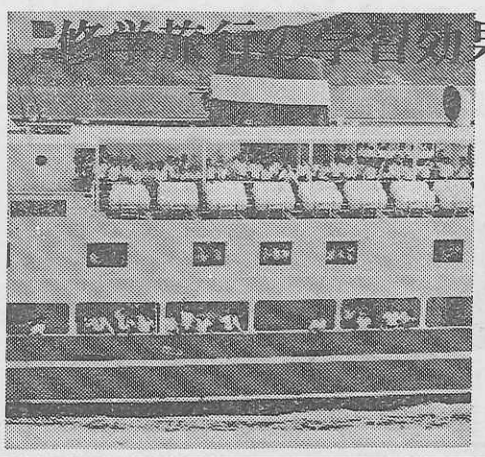
「倉敷に瀬戸の夕凪（なぎ）がくると、町中の煙が真っすぐに立つ。民家や土蔵の白壁が、瀬戸内海の海明かりを映して、薄暮のなかに浮かび上がる。倉敷が香水を放って見えるときである。日本人が忘れてしまっていたこの白の陰影、白の香気といえるものを、がんこに残そうとしてきたのが、倉敷である。

倉敷窓の格子越しにのぞくと、町全体が完成された一個の民芸品として、そこにある」▼この文は、昨年六月二十七日付毎日新聞からの引用である。前に倉敷を訪ねた時は、そそくさと大原美術館の絵などをみて帰ったものだから、この文章に表現される倉敷を見直し、味わいたいと思うようになった▼しかし、団体で行動しつつ、しかも一時間ほどの時間で、美術館も、民芸館も、考古館も見てまわり、そして倉敷の〝白と黒〟の鋭いコントラストの美しさを味わうなどということはむずかしいことである▼だが、見る心を整え、視点を定めることによって、漠然と動きまわるのでは味わえない、倉敷のよさに近づくことはできるものと思う▼たとえば、再度訪れたときは、考古館を主として他はカット、倉敷川一帯の風情を味わうなど、いろいろ人によって見方があろう▼今橋、中橋や倉敷川のよどみ、白壁と黒い貼り瓦の家なみなど、いかにも箱庭的であり、点に過ぎないと思うが、そこに群集？している観光客の雑踏と騒々しさを、見て見えぬものとして、心をとめて見れば、そこに倉敷の文化の息づかいが感じられ、これをつくりあげ、伝えてきた、徳川幕府の天領地としての経済繁栄の歴史も偲ばれ、旅情を深めるというものである▼団体の旅行であってもひとりひとりの心の動きは別々である。友人同志、また未知の人々が親しくなり、お互いに見どころ、味わいどころのポイントなど語りあいつつゆくことほ、ひとり旅に味えないたのしさである。

全修協だより

▼全修協愛媛県支部の新所在地は、松山市清水町三丁目の県生協新築社屋内へ。


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）585—1046（代表）
東京 コマ旅行会館


修学旅行の教育効果向上のために
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

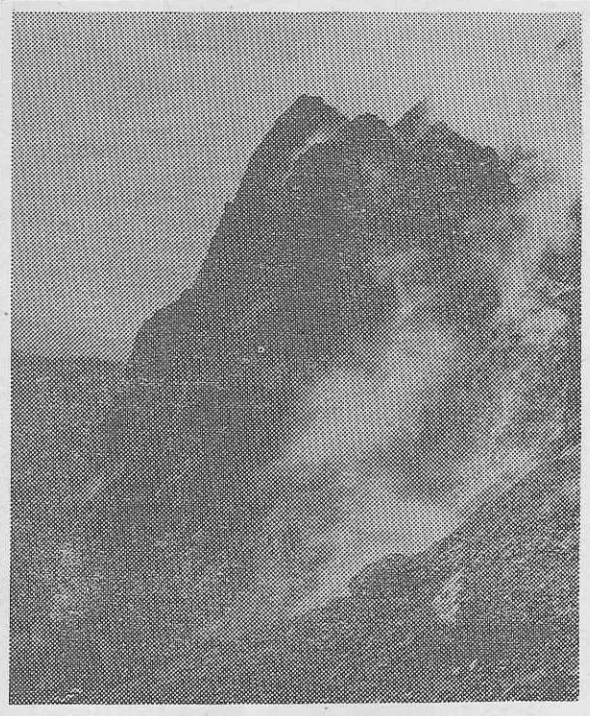
北へ南へ20コース

〝研修行事〟盛りこんで

第16回夏季研修旅行

全国で募集はじまる

(財)全修協企画による本年度夏季教職員研修旅行は日教組のヨーロッパ教育事情視察や東京私学の現地研修などを含めて二十コースとなった。修学旅行の指導や教育現場に直接役立てようと毎年参加者が増えるため、ことしの目標は七千名。多くの要望にそって〝北海道秘境〟など新コースが続々と登場しているのも特色。現地での講演や研修行事も充分に組み入れてあるので全国教職員各位は挙って参加されるよう全修協では望んでいる。(くわしい日程は学校に配布したチラシを。また問合せ先におたずねのこと)。



昨年度研修旅行写真コンクール北海道知事賞作品（白黒）
北海道コース「昭和新山」帆足篤治氏（福岡）

北海道一周 Aコース

全修協が研修旅行を開始したときからのコースで毎年最高の参加者で実施している。いわゆる北海道のモデルコース。基点上野から八泊九日で北海道の夏を満喫しながら研修する。函館から札幌、旭川、層雲峡、北見、網走を経て原生花園へ入る。美幌峠から川湯、摩周湖、釧路へ。白老でアイヌ部落の実態を研修し、登別、昭和新山から洞爺湖を回わる。

【実施】東北、関東、北陸、東海、中国、四国、九州。

北海道一周 Bコース

昨年から新設した復路飛行機利用の北海道一周のコース。見学個所はAコースとほとんど同じである。スピード時代にふさわく参加者の人気を呼び、昨年は締切り前に早くも満員となった。

なお、福井、石川、金沢、富山、新潟は往路日本海回わり、復路は羽田着、東京から各県の基点まで。

【実施】関東、北陸、東海、中国、四国、九州。

北海道秘境コース

既参加者の要望にこたえてことしから設けた全修協自慢のコースのひとつ。往復とも航空機を利用するので大きな人気を呼びそう。

羽田から千歳へ直行して札幌。釧路、根室、納沙布岬、厚床、尾岱沼、羅臼などの各所を研修する。さらに知床半島めぐりのあと斜里、原生花園、網走を経て層雲峡へ。大函・小函から稚内へ入り船で礼文島の香深、さらに沓形、利尻島内を見学して鴛泊。鬼脇から稚内を経て千歳から東京羽田へ戻るコース。人かげもまばらな、秘められた多くの名勝を探ぐる六泊七日の旅である。

【実施】東北、関東、北陸、東海、中国、四国、九州。

東北一周コース

日本三大名勝のひとつ、松島の各所を研修して奥東北へ入るコースで、既往のものを大改善して提供する。松島では瑞巌寺、観瀾亭五大堂を見学、石巻から鳴子へ。秋田県に入り角館を経て田沢湖で宿泊する。秋田市では市内見学とともに平野美術館、鉱山博物館を研修し、男鹿半島へ。日本海の夏を味わって男鹿温泉泊り。さらに寒風山から八郎潟開拓の大潟村を視察し、能代を経て弘前市。弘前城跡から一路十和田湖へ入り宿泊。翌日は湖上遊覧ののち奥入瀬渓流を探勝して青森へ。東北特有のきめこまかい人情、風俗を研修する。

【実施】北海道、関東、北陸、東海、中国、四国、九州。

陸中海岸コース

これも要望によって新設したコース。男性美ゆたかで壮絶な太平洋岸の奇勝をさぐる上野基点の六泊七日の旅。中尊寺、毛越寺から気仙沼へ入り、浦ノ浜を経て唐桑半島へ。高田松原、大船渡市から碁石海岸、釜石泊り。田ノ浜、浄土ケ浜、真崎、島之越から北山崎めぐりを行なう。宮古、小本、竜泉洞を見学して盛岡市へ入り、東八幡平で宿泊。さらに八幡平アスピーテラインを経てフケの湯、トロコ温泉、湯瀬から渋民村で啄木を研修し盛岡から帰路へ。

【実施】関東、北陸、東海、中国、四国、九州。

佐渡・磐梯・蔵王コース

海と山を組み合わせた特殊なコースとして人気を集めている。新潟から両津、佐渡金山、鉱山博物館、尖閣湾を研修して相川泊り。さらに佐渡博物館から真野御陵を経て新潟港へあがり一路会津若松東山泊り。鶴ケ城、飯盛山、野口記念館、五色沼、磐梯高原、浄土平、福島を経て飯坂温泉泊り。飯坂から白石へ入って蔵王エコーラインを経て山寺、天童温泉へ。涼風を追う旅。

【実施】関東、東海、中国、四国、九州。

中部山岳コース

昨年開通した黒部・立山アルペン・ルートを中心に木曽路と高山を結んだ山のコース。東日本と西日本とはコースが逆になるが、見どころは馬篭、木曽路を経て考古学上貴重な資料を提供している平出遺跡へ。松本城を見学して浅間温泉泊り。翌日は黒部ダムから立山トンネルを抜けて富山へ出る。庄川温泉に一泊して飛騨の白川郷、高山を経て下呂温泉へ。さらに美濃太田から犬山城へ出る。昔日の木曽路の面影をしのび壮大な中部アルプスに触れる異色コース。

【実施】北海道、東北、関東(長野を除く)新潟、中国、四国九州。

能登・越前コース

これも多くの要望にこたえて新しく組み直したコースだけに研修個所がいっぱい。東日本、西日本とではコースが逆になる。上野基点にすると急行電車の前夜発で津幡へ。千里浜ドライブ・ウェイで羽咋、妙成寺を見学して能登金剛、総持寺、輪島、曽々木海岸、時国家、禄剛崎を経て九十九湾めぐりののち和倉泊り。七尾市から内灘砂丘、金沢市に入り兼六園、安宅関跡を見て片山津、大聖寺、東尋坊から芦原温泉へ。さらに永平寺に詣でたあと福井、米原へ出て東京へ。日本海の味覚を楽しみながら名勝旧跡をたずねる研修の旅。

【実施】北海道、東北、関東、北陸、九州。

伊勢・志摩・紀州コース

さいきん観光開発が進み、見どころも多くなった伊勢志摩に和歌山県の一部を加え全修協の誇るコース。伊勢神宮から伊勢志摩スカイラインを経て鳥羽へ。御木本幸吉翁の業績を偲びつつ真珠島を見学。二見浦から松阪を経て瀞峡へ。勝浦温泉泊り。那智山、潮岬、橋杭岩を研修、白浜温泉宿泊。泉都めぐりののち高野山。宿坊での研修と宿泊はよき思い出となろう。

【実施】北海道、東北、関東、新潟、九州。

欧州教育事情視察

全修協の研修旅行に、昨年からまた二つの特色がふえた。日教組企画による欧州教育事情視察のコースだ。日教組は全修協の過去の実績と経験を深く諒め、昨年から

視野をひろめよう

日教組 欧州教育事情視察

全修協主催

第九次日教組ヨーロッパ教育事情視察団の募集は今夏も全修協の主催で行なわれる。テーマは〝世界教員団体総連合(WCOTP)総会見学と教育事情視察〟で九か国十二都市を回わる。期日は七月二十七日から八月十六日までの二十一日間。定員八十名。会費は四十一万三千円(往復航空運賃、宿泊費、食費、団体行動中の交通費チップ、ガイド料などをふくむ)申込金五万円(会費に充当)で、申込締切は五月三十一日。渡航手続きは申込者に全修協から直接通知するが、準備するものは戸籍抄本一通、写真(五枚)四方で正面無帽無背景のもの)十枚。取消料は六月一日から同二十日まで一万円、六月二十一日以降は五万円となっている。

おもな視察地と行事は次の通り。

クレムリン宮殿、モスクワ大学(全ソ教組訪問懇談)ロンドン塔バッキンガム宮殿(イギリス政府教育機関代表者の講演と質疑応答および教組訪問と懇談。WCOTP総会開会式傍聴)コロッセオ、古代ローマ遺跡、トレビの泉(レオパルディ専門学校の夏期講演見学)ドーモ、サンタクローチェ寺院、ミケランジェロの丘、ミラノ座、「最後の晩餐」鑑賞(チューリッヒ市立女子高校視察)ハイデルベルク、ライン川下り、アムステルダム(教組と市教委訪問懇談)ブダペストの国会議事堂、ランツ橋、聖マチアス大寺院、モンマルトル丘、オペラ座、ノートルダム寺院、シャンゼリゼ(ユネスコ特別視察)ルーブル博物館、ソルボンヌ大学など。

なお各学校あてに教組または全修協支部から要項記載のチラシが配布されているのでご覧ねがいたい。

南近江と若狭・越前の探究コース

京京私学の現地研修会もことしで九年目を迎えた。本年は滋賀県の南部を中心に組み立て、来年は北部方面を研修していくという企画。

【実施】東京(私学)。

【おことわり】近畿地区は別途のコース建てのため掲載されていません。詳細は各校へ配布のチラシをごらんになるか、問合せ先きにおたずね下さい。

郷土の玩具

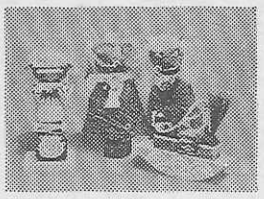
故事をたくみに表現

鹿踊りなど

○…岩手県花巻地方の郷土芸能「鹿(しし)踊り」を模したもの(写真左)約六百年まえ、空也上人と仲のよかった二ひきの鹿が狩人に殺されたのをあわれみ、村人を集めて鹿の戯れるさまを舞わせ、冥福を祈ったという鹿踊りが発祥で昭和初期の創作。ツノを立てた頭、ササラを背負いぶらさげた太鼓を鳴らしながら踊る姿はその模様をよくあらわしている。

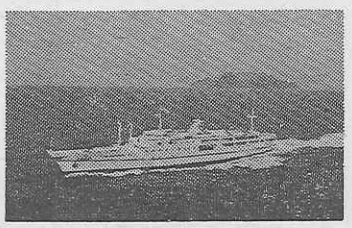
○…秋田県男鹿市で行なわれる冬の有名な行事〝なまはげ〟をかたちどったもの。ツノを生やし、するどい歯をむき出したグロテスクな姿だがよく見ればなかなか愛嬌がある。(写真中央)

○…岩手県盛岡市と花巻市地方で作られる木製玩具。(写真右)宇治川の戦いに佐々木高綱が先陣争いをしたときの乗馬「いけづき」を讃えるためにできたもので昭和初期の創作。波模様の半円の台に黒駒がのり、ちょうど波をけって進むさまをよく現わしている(資料提供・中央研修部)



若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸 (旅客定員 1,800名 3,000トン)



見ているだけで、心が大きく広がる海——
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。

●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講義用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店 東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911

●京都駅より徒歩15分——
歴史がそのまま学べます。楽しめます！

平安文化の宝庫"東寺„の境内
450名収容・全館冷暖房完備
日観連加盟
東寺 洛南会館
京都市南区東寺東門入ル
TEL・075(691)3101～2
⊙ご連絡下さい。資料直ぐ送ります⊙